

**令和3年度 第71回群馬県高等学校柔道選手権大会
兼 第70回全国高等学校柔道大会群馬県予選実施要項**

1	主 催	群馬県高等学校体育連盟 群馬県教育委員会
2	後 援	群馬県柔道連盟
3	主 管	群馬県高等学校体育連盟柔道専門部
4	日 時	令和3年5月29日(土) 男女個人試合 女子10時30分試合開始 男子12時30分試合開始 令和3年6月19日(土) 男女団体試合 女子10時30分試合開始 男子12時30分試合開始
5	会 場	ALSOKぐんま総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館第一道場 前橋市関根町800 電話：027-234-5555
6	競技規定	国際柔道連盟試合審判規定(最新版)並びに(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。 (1) 試合時間は個人試合、団体試合ともに3分とする。 (2) 「優勢勝」の判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差2」とする。 (3) 「技の内容」と「指導」の重みは次の通りとする。1本勝=反則勝>技有>僅差
7	新型コロナウイルス対策	本連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催大会等実施ガイドライン」に沿った対策を講じると共に、細部については、各競技団体作成のガイドラインや群馬県作成の「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等開催ガイドライン」に準じた万全の対策を講じること。
8	競技方法	(1) 団体試合(3分) ア トーナメント戦を行う。 イ 団体試合のチーム対チームの勝敗は以下の項目に従って決定する。 ① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。 ② ①で同等の場合は「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。 *ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。 ③ ②で同等の場合は「技有」による勝ちが多いチームを勝ちとする。 ④ ③で同等の場合は代表戦を行う。 *代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。 *代表戦における優勢勝ちの判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。 ただし勝敗が決しない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)を時間無制限で行う。 延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。 (2) 個人試合(3分) ア トーナメント戦を行う。 イ 試合終了時に得点差のない場合は、時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア方式)を行い、必ず勝敗を決する。なお、延長戦では「技有」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
9	引率・監督	(1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(但し、公立学校にあっては教員とする。)また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。 但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。 (2) 選手は必ず、当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。 (3) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
10	参加資格	(1) 参加選手は本連盟柔道専門部に登録した者であって、平成14年4月2日以降に生まれた者とする。 但し、同一学年での出場は1回限りとする。 (2) チームの編成は、全日課程、定時課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。 (3) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。但し、一家転住の場合は特例として参加を認める。 (4) 参加選手は、日常的に健康状態を確認し、当日は「健康状態申告書」を提出すること。
11	出場制限	(1) 団体試合 1校1チーム(定時課程、通信制課程が出場する場合は、2または3チーム) 男子については監督1名、選手5名、補欠1名、計7名とする。 女子については監督1名、選手3名、補欠1名、計5名とする。 (2) 男子個人試合 ア 1校監督1名、選手各階級3名以内の計15名以内とする。 イ 体重別とする。階級は60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級の7階級とする。 (3) 女子個人試合 ア 1校監督1名、選手の出場数は制限しない。 イ 体重別とする。階級は48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、78kg級、78kg超級の7階級とする。
12	大会中止条件	群馬県高等学校体育連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催事業大会等ガイドライン」の「2県高体連主催大会再開に当たっての基本的考え方」に示されている開催条件が整わない場合。県内の感染状況に鑑みて、安全が確保できないと判断した場合。その他群馬県教育委員会又は群馬県高等学校体育連盟より大会の中止指示等があった場合。
13	表 彰	各校顧問を通じて以下を授与する。 (1) 男子団体試合優勝校に優勝旗、優勝カップ(持ち回り)とメダルを、女子団体試合優勝校に優勝カップ(持ち回り)とメダルを授与する。 (2) 個人試合優勝者にメダルを授与する。 (3) 団体試合、個人試合の1位から3位入賞校(者)に賞状を授与する。 (女子団体戦がリーグ戦の場合には第4位まで表彰する)
14	参加料	1チーム 3,500円 個人試合1名 1,000円 大会当日に受付で監督が納入する。
15	申 込	5月21日(金)までに必着。下記事務局にメールと郵送の両方で申し込む。 〒378-0014 群馬県沼田市栄町165番地2 電話 0278-23-1131 利根実業高校 福田 隆行 メールアドレス fukuta-8836@edu-g.gsn.ed.jp
16	組合せ会議等	5月26日(水)13時30分から県立勢多農林高等学校(前橋市日吉町2-25-1)で常任委員会を行う。 14時30分から常任委員及び各校代表者で組み合わせ抽選を行う。
17	選手変更	個人試合の選手の変更は認めない。大会前日の午後5時までに、委員長に連絡する。 団体試合の変更は、男子1名、女子1名を限度とする。伝染病その他天災による場合は特例を認める。 大会当日、当該校長の証明書、医師の診断書、柔道整復師の証明書のいずれかを委員長に提出する。

- 18 受 付 大会当日、監督及び選手がぐんま武道館玄関にて、次の時間内に行う。9時15分～9時50分
19 計 量 5月29日(土)女子は医務室、男子は第一道場にて9時20分～9時50分までに行う。(時間内計量)
20 監督会議 10時00分に第一道場にて行う。
21 その他 (1) 別紙「感染防止ガイドライン」の内容を確認の上、遵守する。
(2) 開会式、表彰式は行わない。
(3) 選手は所定のゼッケンを付ける。
(4) 全国大会出場権
男女団体・男女個人試合の優勝校・優勝者は8月8日～8月12日に長野県長野市で行われる第70回全国高等学校柔道大会に県代表としての出場権を得る。但し団体戦における選手の人数は、男子は5名、女子は3名が出場の条件となる。
(5) 男子団体試合上位8校および女子上位4校は新人大会のシード権を得る。
(6) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
① 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
② 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
(7) 貴重品の管理は各自で行うこと。
(8) ゴミは必ず持ち帰ること。
(9) 靴は会場の下足入れの使用が不可のため、所属又は各自でビニール袋を準備しておくこと。
(10) 選手・打込相手・監督・役員・係生徒以外の会場への入場は禁止する。(無観客試合とする。)
(11) 選手・各校補助生徒は試合終了後、速やかに退館する。
(12) 声を出しての応援は禁止する(拍手は可)。
(13) アップの時間・場所については、第一道場、控え室として第二道場とする。
(14) 選手・打込相手・監督・役員・係生徒等は、所定の健康観察記録表の提出をすること。
(15) 選手・打込相手・監督・役員・係生徒等は、第一道場入場口で検温を実施してから入場すること。
※ 打込相手の基準として、個人試合開催時は選手同士で最大14名以内、団体試合開催時は最大12名以内とする。